

国内では珍しい

タネから作れるジャガイモ

モニター100名から寄せられたコメントを元に、お悩みを解決!

プチじゃが



2023年春準備号で初登場した「プチじゃが」。実際に栽培して下さったモニターの皆さんにアンケートをお願いし、お寄せいただいたコメントから分かった栽培のコツをご紹介します! 大事な3つのタイミングとポイントをつかんで、あなたもプチじゃが成功体験を楽しんでみませんか?

栽培のコツ 1

発芽

タネまきのタイミング

温暖地:2月中旬~4月上旬
寒冷地:3月中旬~4月中旬

発芽のポイント

この時期はまだ寒く、発芽適温(地温25~30℃)に満たないので、しっかり保温してからタネまきするとよいです。
また、タネはペレットシードなので、タネまき後にしっかりと水やりしてペレットが割れるようにします。



宮城県K様より、発芽の様子。
上:タネまきから22日
下:タネまきから29日

栽培のコツ 2

追肥と土寄せ

追肥と土寄せのタイミング

追肥【1回目】:1~2回目の土寄せ時
追肥【2回目】:3~4回目の土寄せ時
土寄せ【3~4回程度】:地表にイモが出てくる前に、根元(イモ)がしっかり隠れる程度に土をかぶせる

追肥、土寄せのポイント

「プチじゃが」の苗は深植えで定植します。それでもタネイモと比べると浅くなってしまいますので、イモが地表に出やすくなります。
土寄せは様子を見ながら、3~4回行い、その間2回ほど、追肥を行います。



※黒マルチなら土寄せ不要です
宮城県K様より、定植後の様子。
タネまきから90日

栽培のコツ 3

収穫

収穫のタイミング

タネまき後、約120日が目安

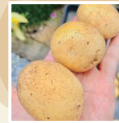
収穫のポイント

「プチじゃが」は他の品種と比べて後半まで株が黄化せず残ります。(環境によって左右されますが、おおよそ半月~1か月ほど遅く黄化します)
収穫は一般的なジャガイモと同様に、株が黄化してから収穫するようにします。早く収穫するとイモの大きさや収穫量に影響することがあります。

宮城県K様より、収穫の様子。
タネまきから136日。「試し掘り」を除く5株から3.1kg収穫できました!



収穫後の楽しみ!



神奈川県S様より。「バサバサの食感と思いきや、ホクホクした食感でおいしかった!

プチじゃがの特長

大きくなりにくいので畑がなくてもOK!

プランターや鉢でも楽しめる♪

芽が少なく肌ツヤがキレイ!

栗ジャガのようなおいしさ!

小さいので半分に切るだけでOK! だから調理がラク♪

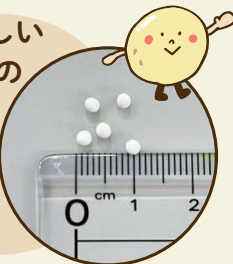
1株の収穫量の目安



ちっちゃくてかわいい!

とっても珍しいジャガイモの種子販売

ペレットシードだからまきやすい!



ジャガイモ プチじゃが

黄金色で栗ジャガのようなおいしさがあります。イモは小ぶりですが、芽が少なく、肌ツヤがよいので、切らずに調理することもできます。栽培は初期の生育はゆっくりですが、その後生育は旺盛になっていきます。畑はもちろん鉢でも栽培することができます。

[ナス科] 耐暑 中
※25~30℃ 株間 30cm
※タネイモでのお届けではございません。ペレットシードでのお届けとなります。

栽培地	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
温暖地				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
寒冷地				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



絵袋(小袋)見本

収穫目安
タネまき後
約120日

サカタのタネ オンラインショップはこちら